

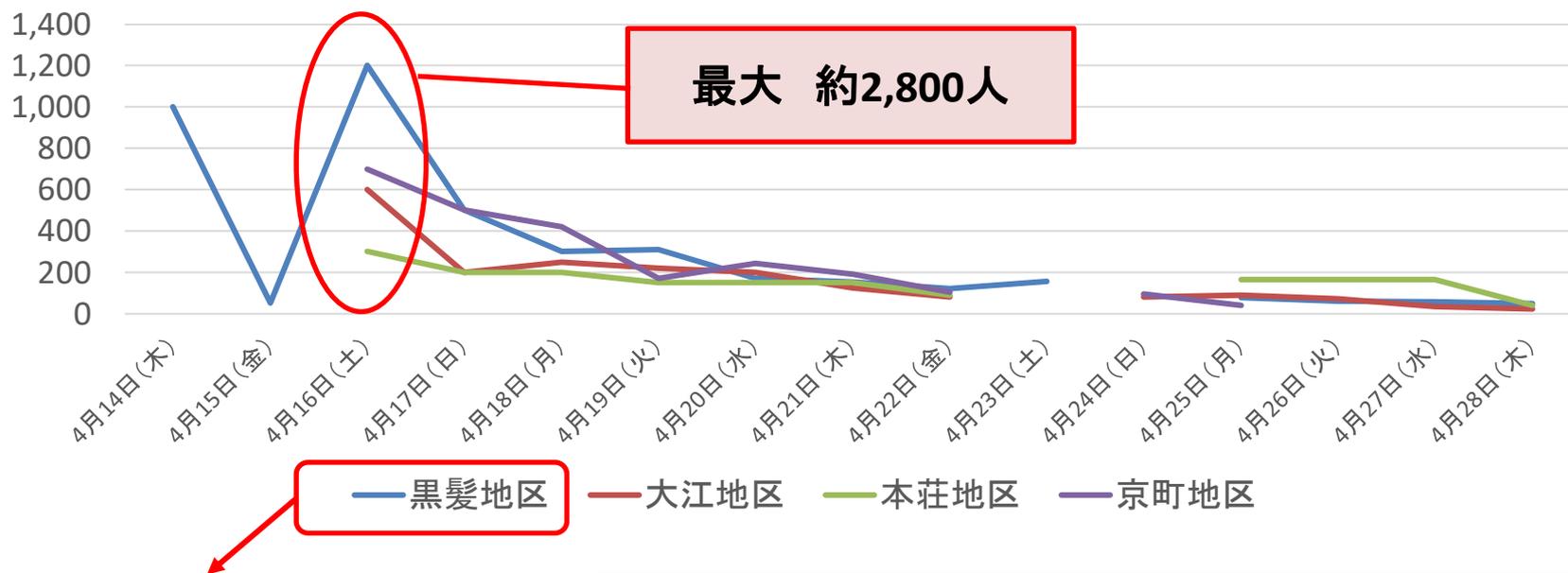
外国籍の人たちと避難所をともにする

～熊本地震の経験から～

熊本大学熊本創生推進機構 安部美和

大学で避難所開設

学内における避難者数の推移(震災後2週間)



開設:平成28年4月16日

閉鎖:平成28年4月30日正午

運営日数:15日間

最大避難者数:905名

(うち外国籍185名)

熊本大学全体としての被害状況

【人的被害】

死者0人、重軽傷者108人(学生97人、教職員11人)

【ライフライン】

- ・本震後、学内の電力は通常通り供給
- ・上水道及び都市ガスが供給停止(4/16~4/28)

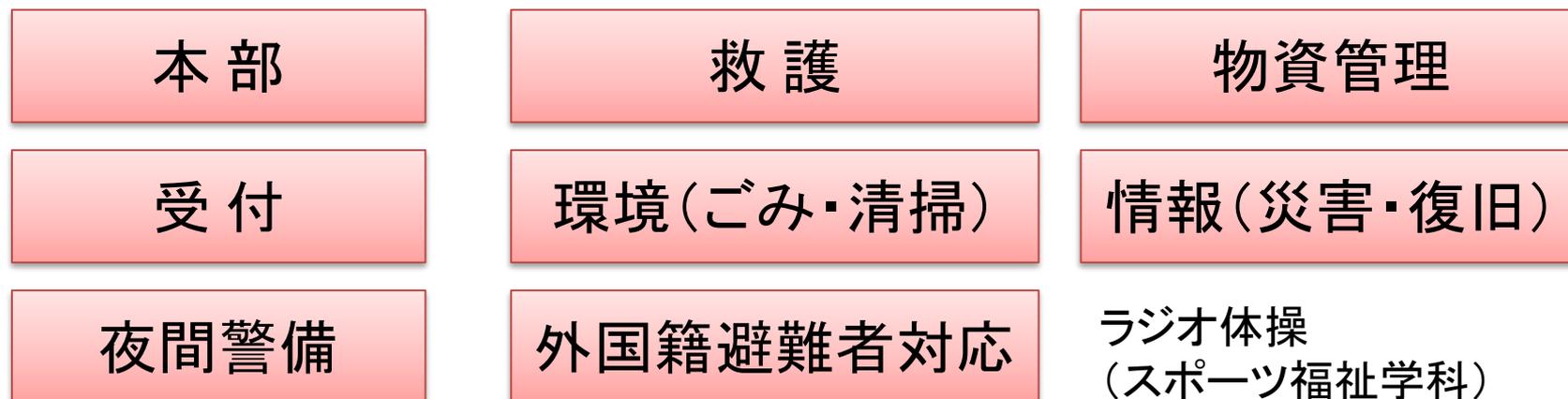
【施設関係】立ち入り禁止建物 5棟

突然、多様な人々での共同生活を始めることになりました。

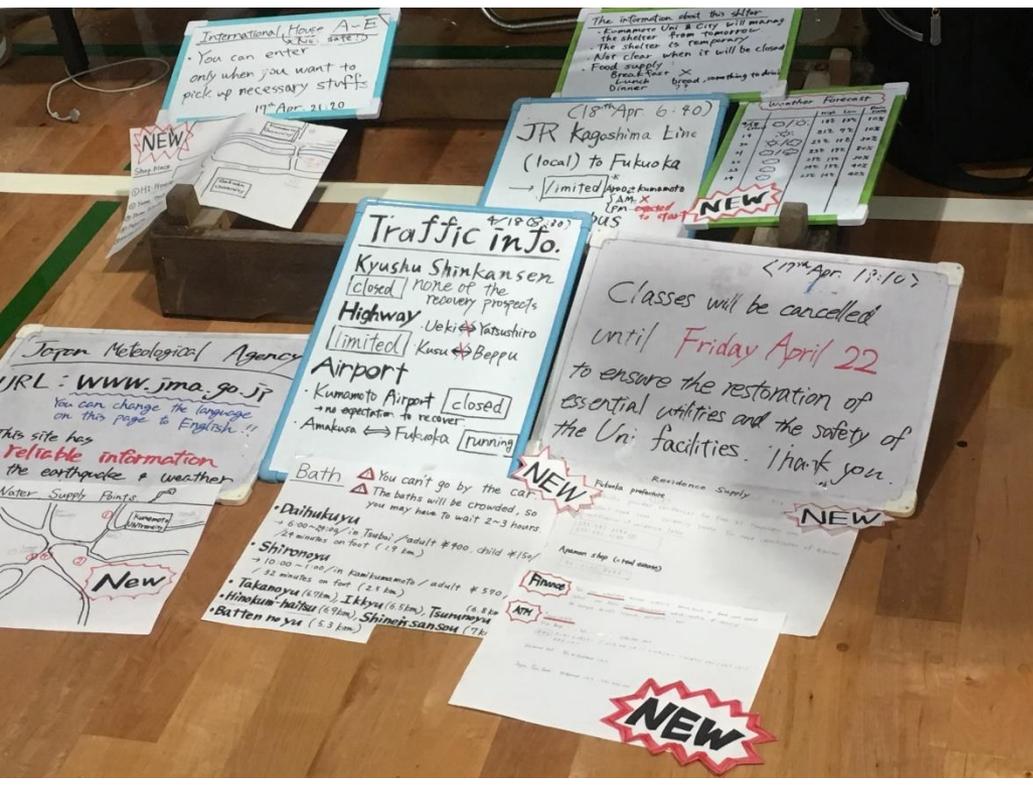


熊大黒髪避難所の運営組織の例

- 学生の参加 **約120名** (自主的とはいえ彼らも被災者)
- **役割の明確化**



- 各班でシフト制
- 学生団体主導の運営: 4月16日~18日 (疲労、インフルエンザのため解散)



【外国籍避難者対応】

- 交通情報
- 休講のお知らせ
- ネット環境(接続情報)
- 近隣の銭湯情報
- ATMなどの利用可能状況
- 学生寮の被害状況

外国籍避難者対応

- 館内アナウンス及び掲示物の**二ヶ国語対応**
- 各国大使館の動きに関する情報収集
- 困りごとをスタッフに上げてもらえる関係づくり
- ハラルフード対応** (インドネシア大使館の支援)
- 留学生によるプログラム
(子どものレクリエーション、語学教室、ヨガ教室など)

直後から対応

時間が経ってから

26th Tuesday

	Lounge	1A	1B	1C	1D
10:00 - 11:00				Relax Yoga リラックス ヨガ	
11:00 - 12:00	Kids Movie 子供向け映画		Khmer Conversation クメール語会話		
12:00 - 1:00					
1:00 - 2:00		Japanese Calligraphy 書道		Exercise Yoga 運動 ヨガ	
2:00 - 3:00	Kids Movie 子供向け映画	Japanese Salon 日本語サロン	Art Therapy アートセラピー		Talkmon 14:40 - 16:00 K. Johnson トークモン
3:00 - 4:00		Vietnamese Conversation ベトナム語会話			

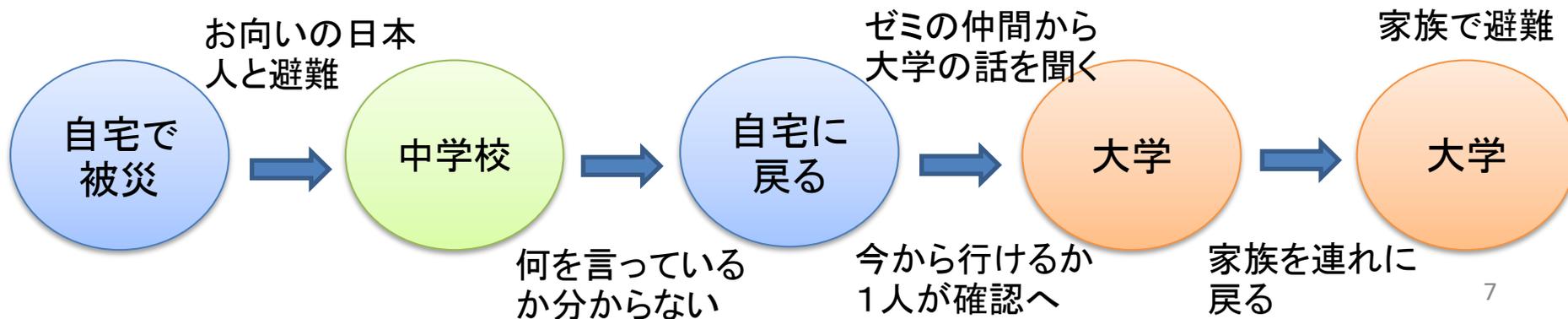


あの日留学生たちは・・・



「地震」を
知らなかった・・・。

多くの外国籍の方々
にとって、地震や津波
からの避難はイメー
ジできないこと。



災害時要配慮者

高齢でトイレに行くのに介助が必要な方

外国籍の方(かつ子供さんと避難)

自閉症のお子さんと一緒に避難所へ

出産予定日間近の妊婦

精神障がいを抱えている方

車いすで生活されている方



最も対応が難しかった例：外国籍の方で子供さんが酸素吸入をされているケース



支援物資(食事)を食べられない方もいます





交流も生まれました：子供のスペースは国籍を超えて



外国籍の方々からの食事の支援もありました

異文化交流で一番役に立ったのは「ラジオ体操」でした



地震と避難所生活を経験して

良かった・・・

次何を準備したら
よいか分かった

ラジオ体操を覚
えた

お向かいの人が
英語を話せた！

いろいろな国の友
達ができた



困った・・・

肉は避けたいけど
表示がわからない

国にいる家族との
連絡

どこが一番安全
なの？

何を持ち出せば
よいの？

外国籍の人たちと避難所をともにして

【当初私たちが心掛けていたこと】

- 自分が海外で被災したら／自分の家族が海外で被災したら、どんなことに困るか。その視点で対応策を考える。

【外国籍の避難者がいたからこそその気づき】

- 地震や台風を経験したことのない国の人々もいる。そもそも「避難行動」のイメージ自体が難しい。
- 災害時に限って、難しい日本語。
「余震」「避難」「警報」「高台」「氾濫」「決壊」「濁流」「液状化」
- コミュニケーションツールとしての「ラジオ体操」
- 二か国語の表示は、避難している中学生でも手伝える。